

平成 24 年度 環境監視結果年報

平成 25 年 10 月

中部国際空港株式会社

はじめに

中部国際空港株式会社は、平成 22 年 4 月に「空港島及び空港対岸部に係る環境監視計画」を「中部国際空港に係る環境監視計画」に改定し、平成 22 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、平成 24 年度(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の調査結果を「①環境基準値との比較」、「②開港後の推移」の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

目次

1 気象の状況	1
2 空港の運用状況	3
3 環境監視結果及び評価	
航空機騒音.....	8
(1) 環境監視結果.....	8
ア 常時監視結果.....	10
イ 定期監視結果.....	17
(2) 航空機騒音の項目別比較検討.....	21
ア 環境基準値との比較	21
(ア) 常時監視結果	21
(イ) 定期監視結果	21
イ 開港後の推移	26
(ア) 常時監視結果	26
(イ) 定期監視結果	27
(3) 航空機騒音の評価.....	29

参考資料

1. 気象の状況

(1) 気象観測

気象庁による名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、東海及び南知多地域気象観測所の気象観測結果は表 1-1のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1のとおりである。

平成 24 年度の中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の 18.5%を占めた。

また、台風は 6 月に第 4 号、10 月に第 17 号が愛知県に上陸し、5 月に空港沖で竜巻が発生した。

表 1-1 名古屋、セントレア、東海、南知多における気象観測結果

気象要素	地点	平成24年										平成25年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	3.2 (3.2)	3.4 (3.0)	2.8 (2.7)	3.0 (2.6)	2.9 (2.7)	2.9 (2.6)	3.0 (2.6)	2.9 (2.6)	3.3 (2.7)	3.3 (3.0)	3.6 (3.3)	3.6 (3.5)	3.2 (2.9)	
	セントレア	5.7	5.4	4.7	4.5	4.6	5.1	5.7	6.7	7.5	7.3	7.3	6.1	5.9	
	東海	1.7 (2.2)	1.3 (1.9)	1.1 (1.6)	1.3 (1.5)	1.4 (1.6)	1.3 (1.4)	---	---	---	---	---	---	1.4 (1.9)	
	南知多	3.5 (1.9)	3.3 (1.6)	2.9 (1.3)	2.7 (1.2)	2.6 (1.3)	2.7 (1.3)	3.0 (1.5)	3.5 (1.6)	3.7 (1.9)	3.8 (2.1)	4.3 (2.3)	3.9 (2.2)	3.3 (1.7)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NNW	NW	SSE	SSE	SSE	SE	NNW	NNW	NNW	NW	NNW	NNW	NNW	
	セントレア	ESE	NW	ESE	SE	SE	SE	NW	NW	NNW	NW	NW	NW	NW	
	東海	ESE	NW	ESE	SE	ESE	ESE	---	---	---	---	---	---	---	
	南知多	ESE	NW	ESE	S	SE	ESE	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	

注1.名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、東海および南知多は地域気象観測所を示す。

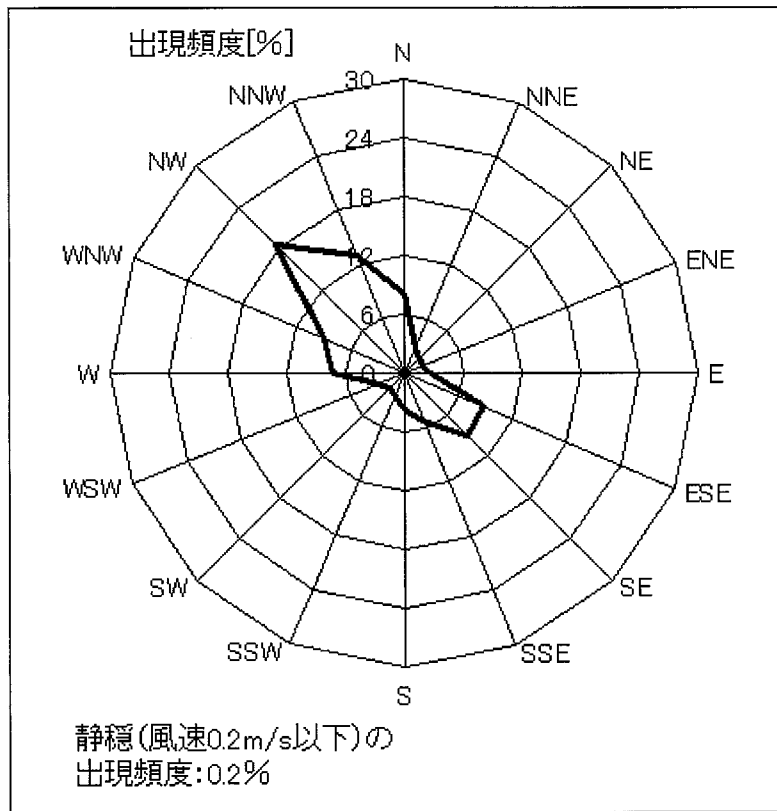
注2.名古屋の欄の下端()内の数値は、昭和46年～平成12年の30年平均値(平年値)である。

注3.東海及び南知多の欄の下端()内の数値は、昭和54年～平成12年の22年平均値(準平年値)である。

注4.年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

注5.東海は、平成24年9月で閉鎖。

注6.南知多は、平成12年11月に移設。



調査期間：平成24年4月1日～
平成25年3月31日

方位	出現頻度 (%)
N	8.1
NNE	2.9
NE	2.1
ENE	2.0
E	2.6
ESE	8.8
SE	9.1
SSE	5.3
S	3.7
SSW	2.6
SW	2.2
WSW	2.8
W	7.2
WNW	9.1
NW	18.5
NNW	12.9
CALM	0.2

出典：中部航空地方気象台発行のセントレアの気象（月報）から集計、作成。

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度（風配図）

2 中部国際空港の運用状況

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月の中部国際空港の運用実績一覧については、表 2-1 のとおり。

中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図 2-1、図 2-2、図 2-3 のとおりである。

また、航空機発着の月別運用比率は図 2-4 およびその年度別推移は図 2-5、航空機の最大離陸重量別年度別推移は図 2-6 のとおりである。

航空旅客数は 7 年ぶりに、航空貨物取扱量と航空機の発着回数は 6 年ぶりに対前年度比で増加に転じた。

表 2-1 中部国際空港の運用実績一覧

中部国際空港実績一覧 [2012年度]

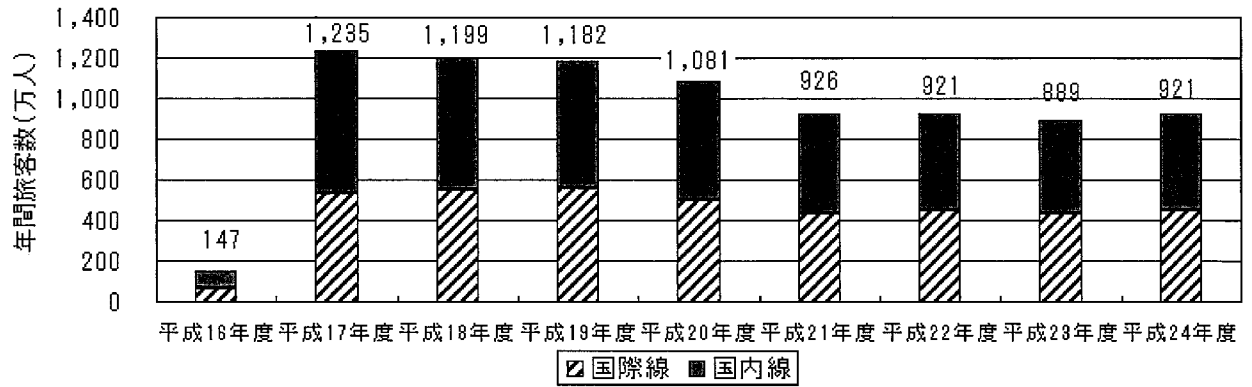
中部国際空港株式会社

区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
1. 航空旅客数	人	728,051 (125)	755,496 (115)	747,843 (113)	802,920 (106)	922,126 (100)	788,904 (101)	4,745,350 (109)	805,186 (97)	744,769 (99)	696,561 (99)	682,874 (98)	691,268 (96)	844,861 (101)	4,465,519 (99)	9,210,869 (104)
国際線	"	389,671 (128)	374,108 (116)	379,538 (108)	389,442 (108)	448,719 (105)	365,538 (105)	2,347,017 (111)	355,438 (92)	342,377 (94)	342,927 (95)	338,718 (93)	336,936 (93)	427,704 (100)	2,143,200 (95)	4,490,217 (103)
国内線	"	338,380 (121)	381,388 (113)	368,305 (109)	413,478 (105)	473,407 (109)	423,365 (102)	2,398,333 (107)	449,748 (101)	402,392 (105)	353,634 (106)	344,156 (103)	355,232 (99)	417,157 (102)	2,322,319 (103)	4,720,652 (105)
2. 航空機発着回数	回	6,829 (103)	7,020 (104)	6,884 (104)	7,351 (106)	7,273 (99)	6,940 (104)	42,287 (103)	7,343 (101)	6,823 (102)	6,908 (100)	6,871 (100)	6,143 (94)	6,938 (98)	41,026 (100)	83,323 (101)
国際線	"	2,669 (110)	2,669 (110)	2,581 (108)	2,706 (111)	2,709 (106)	2,565 (108)	15,919 (109)	2,649 (104)	2,478 (103)	2,515 (101)	2,491 (99)	2,212 (94)	2,545 (98)	14,890 (100)	30,809 (104)
旅客便	"	2,498 (111)	2,530 (112)	2,433 (110)	2,545 (111)	2,559 (106)	2,409 (108)	14,974 (109)	2,467 (104)	2,292 (102)	2,379 (101)	2,378 (100)	2,114 (97)	2,404 (101)	14,034 (101)	29,008 (105)
貨物便	"	102 (116)	99 (96)	96 (91)	116 (135)	101 (146)	107 (155)	621 (119)	122 (154)	116 (138)	103 (147)	82 (96)	86 (72)	86 (82)	580 (111)	1,201 (115)
その他	"	69 (78)	60 (80)	52 (73)	45 (83)	49 (82)	324 (66)	49 (77)	60 (59)	70 (104)	33 (55)	31 (50)	27 (49)	55 (79)	276 (66)	600 (72)
国内線	"	4,160 (100)	4,331 (101)	4,303 (102)	4,645 (103)	4,564 (103)	4,375 (100)	26,378 (100)	4,684 (99)	4,345 (102)	4,393 (103)	4,380 (101)	3,931 (93)	4,393 (97)	26,136 (99)	52,514 (100)
旅客便	"	3,927 (97)	4,158 (100)	4,104 (101)	4,485 (103)	4,469 (95)	4,249 (102)	25,386 (100)	4,431 (97)	4,185 (101)	4,268 (103)	4,272 (101)	3,812 (95)	4,233 (98)	25,201 (99)	50,587 (99)
貨物便	"	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (2)	2 (2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (1)	4 (4)
その他	"	239 (180)	173 (145)	199 (152)	160 (109)	95 (49)	124 (102)	124 (117)	263 (153)	160 (133)	160 (118)	107 (99)	119 (68)	159 (80)	933 (106)	1,923 (112)
3. 国際貨物取扱量	t	9,829 (103)	8,517 (96)	8,817 (96)	8,610 (91)	8,478 (101)	9,833 (103)	54,084 (97)	9,848 (92)	9,777 (92)	9,510 (96)	7,673 (87)	7,535 (78)	9,665 (93)	54,008 (89)	108,092 (93)
積込	"	4,451 (96)	3,983 (91)	4,072 (81)	3,833 (90)	3,690 (91)	4,023 (91)	24,052 (91)	4,533 (85)	4,096 (85)	4,364 (86)	3,489 (78)	3,318 (72)	3,737 (80)	23,537 (80)	47,589 (85)
取卸	"	5,378 (109)	4,534 (97)	4,745 (101)	4,777 (91)	4,788 (111)	5,810 (114)	30,032 (104)	5,315 (98)	5,681 (98)	5,146 (105)	4,184 (83)	4,217 (63)	5,928 (104)	30,471 (99)	60,503 (101)
4. 国内貨物取扱量	"	2,296 (102)	2,101 (102)	2,018 (99)	2,294 (99)	2,172 (99)	2,190 (95)	13,070 (98)	2,346 (99)	2,390 (106)	2,874 (105)	1,905 (97)	2,010 (96)	2,481 (105)	14,007 (102)	27,077 (100)
発送	"	1,265 (101)	1,135 (108)	1,150 (96)	1,198 (92)	1,230 (99)	1,189 (96)	7,167 (99)	1,279 (99)	1,436 (107)	1,672 (108)	979 (92)	1,098 (101)	1,354 (111)	7,818 (103)	14,965 (101)
到着	"	1,031 (102)	967 (97)	867 (84)	1,096 (106)	942 (97)	1,001 (95)	5,904 (97)	1,067 (100)	1,067 (105)	1,202 (102)	926 (103)	912 (91)	1,127 (99)	6,189 (100)	12,092 (98)
5. 給油量	kl	40,749 (106)	38,842 (98)	40,061 (99)	41,688 (102)	42,697 (102)	39,087 (104)	243,124 (102)	39,530 (96)	40,565 (104)	41,908 (102)	39,795 (94)	36,616 (93)	41,815 (97)	240,230 (98)	483,354 (100)
6. 構内営業売上高	百万円	1,683 (121)	1,623 (112)	1,574 (112)	1,688 (109)	2,018 (106)	1,567 (99)	10,154 (109)	1,626 (95)	1,563 (96)	1,717 (101)	1,553 (101)	1,581 (104)	1,811 (108)	9,849 (101)	20,003 (105)
免税店	"	765 (131)	686 (119)	681 (112)	686 (105)	761 (108)	617 (93)	4,225 (111)	616 (87)	662 (88)	627 (92)	627 (94)	594 (107)	723 (109)	3,904 (96)	8,130 (103)
一般物販店	"	567 (114)	568 (105)	546 (108)	612 (103)	773 (104)	593 (103)	3,688 (106)	646 (100)	637 (100)	668 (107)	579 (109)	541 (101)	668 (105)	3,740 (103)	7,438 (109)
飲食店	"	332 (114)	350 (111)	347 (119)	380 (107)	464 (106)	357 (103)	2,230 (109)	364 (104)	343 (106)	386 (110)	347 (108)	346 (104)	420 (107)	2,205 (107)	4,435 (108)
7. 来場者数	千人	902 (118)	906 (110)	917 (114)	900 (103)	1,155 (103)	934 (100)	5,795 (107)	1,043 (109)	896 (102)	918 (103)	857 (102)	859 (99)	1,019 (108)	5,592 (103)	11,388 (109)
8. 駐車場利用台数	千台	109 (112)	110 (104)	106 (112)	124 (104)	168 (110)	118 (103)	736 (107)	111 (101)	104 (103)	121 (108)	117 (110)	117 (105)	131 (107)	691 (106)	1,427 (107)

注1 ()内数値は対前年同月比。

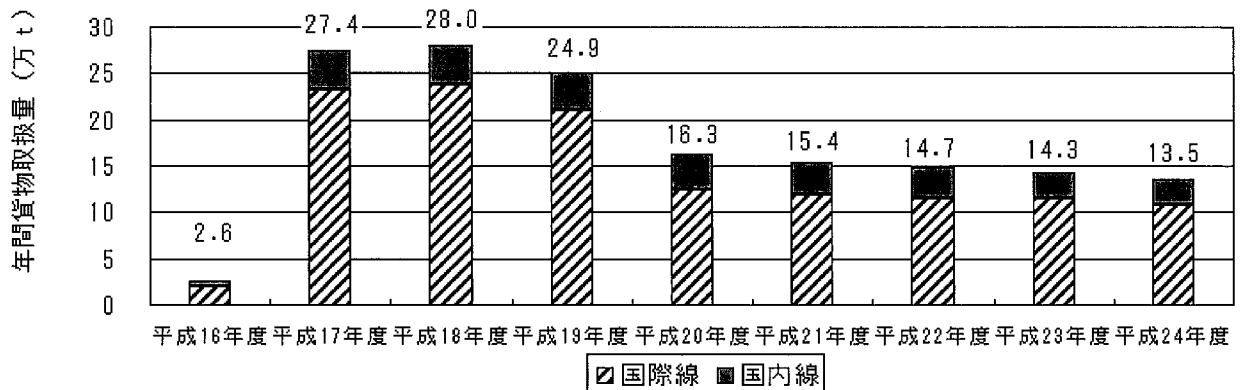
注2 国際貨物取扱量は名古屋税関中部空港税関支署発表のもの。

注3 集計差は集計処理の差。



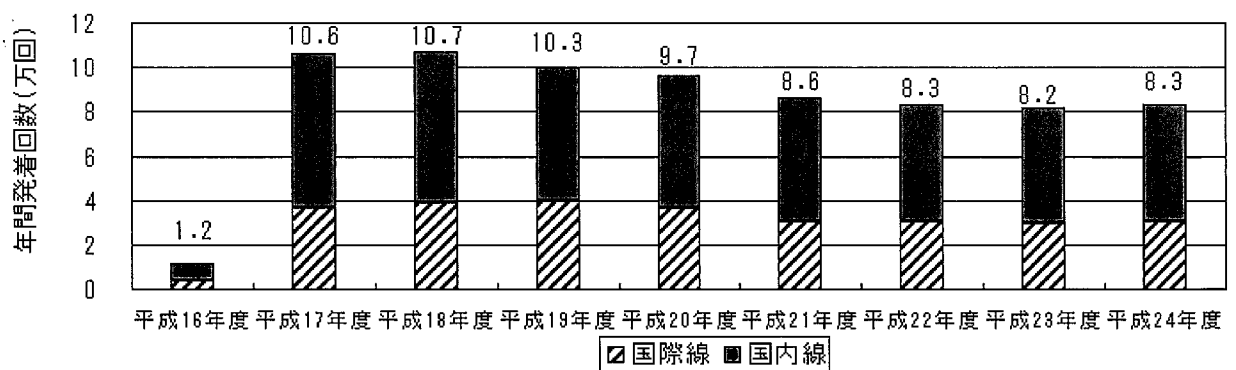
- 注1. 平成16年度の空港運用日数は、43日間（平成17年2月17日～3月31日）である。
 注2. グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-1 航空年間旅客数の推移



- 注1. 平成16年度の空港運用日数は、43日間（平成17年2月17日～3月31日）である。
 注2. グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-2 航空年間貨物取扱量の推移



- 注1. 平成16年度の空港運用日数は、43日間（平成17年2月17日～3月31日）である。
 注2. グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数の推移

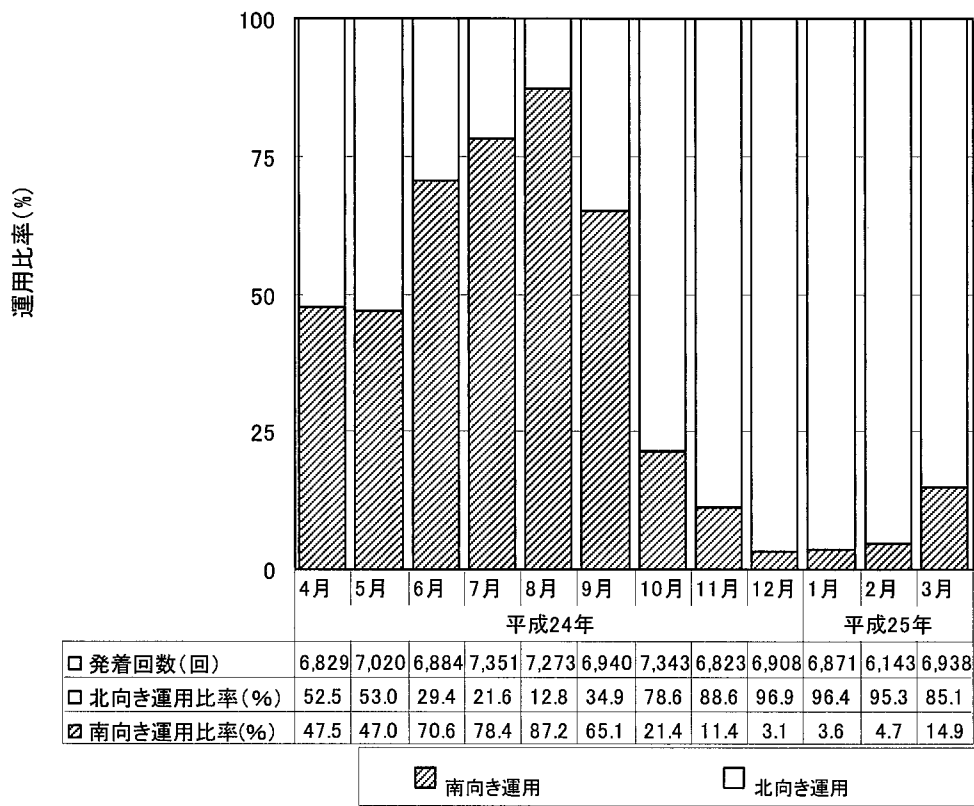
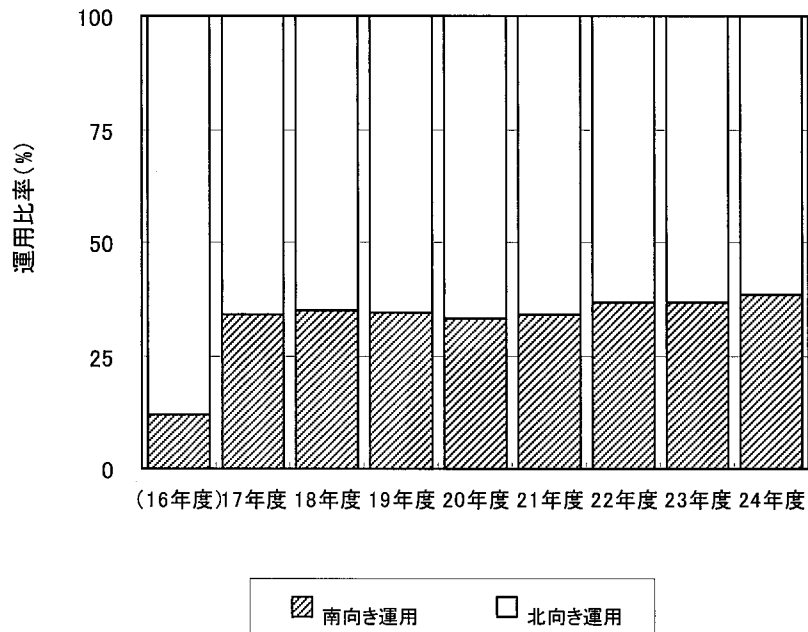


図 2-4 航空機発着の月別運用比率



注. 平成16年度は2月17日～3月31日の運用比率であり、参考として示した。

図 2-5 航空機発着の運用比率の年度別推移

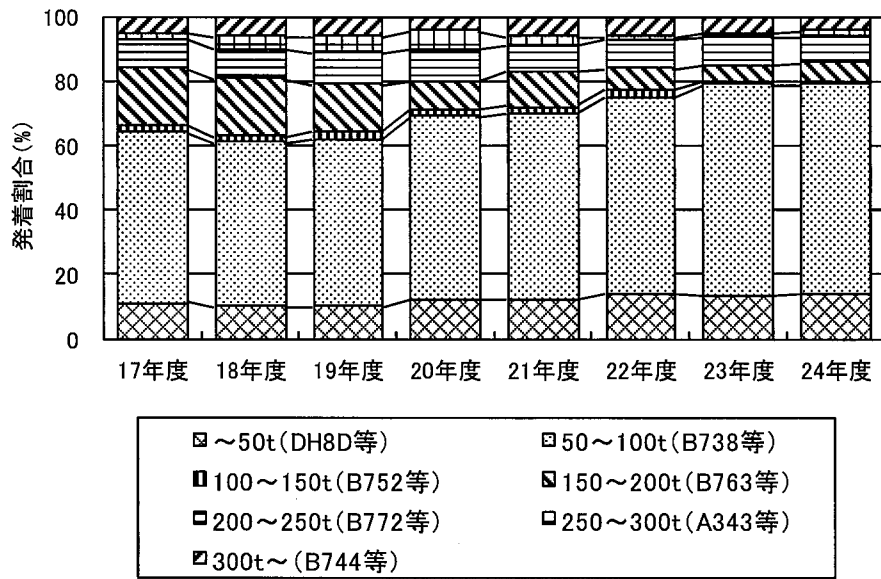


図 2-6 航空機の最大離陸重量別年度別推移

3 環境監視結果及び評価

航空機騒音

(1) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点は表 3-1のとおりである。

常時監視は平成 17 年の開港時から常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館の 4 地点において行っている。

また、本年度の定期監視は平成 24 年 6 月 10 日～16 日（1 回目）、平成 25 年 2 月 1 日～7 日（2 回目）に 10 地点で行った。

航空機騒音の調査地点の位置は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点数
常時監視		平成24年4月1日～平成25年3月31日	4地点
定期監視	1回目	平成24年6月10日～16日	10地点
	2回目	平成25年2月1日～7日	10地点

常時監視地点	
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

定期監視地点	
T1	常滑市立常滑西小学校
T2	南知多町町民会館体育館
A1	愛西市役所
A2	弥富市立十四山西部小学校
A3	弥富市鍋田公民館
M1	桑名市大山田地区市民センター
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設
M3	四日市市海蔵地区市民センター
M4	伊勢市神社みなとまち館
M5	鳥羽市立鳥羽東中学校

- 注 1. 定期監視は各調査地点について調査期間のうち 7 日間連続で実施した。
 2. ①～④及び T1～M5 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応する。

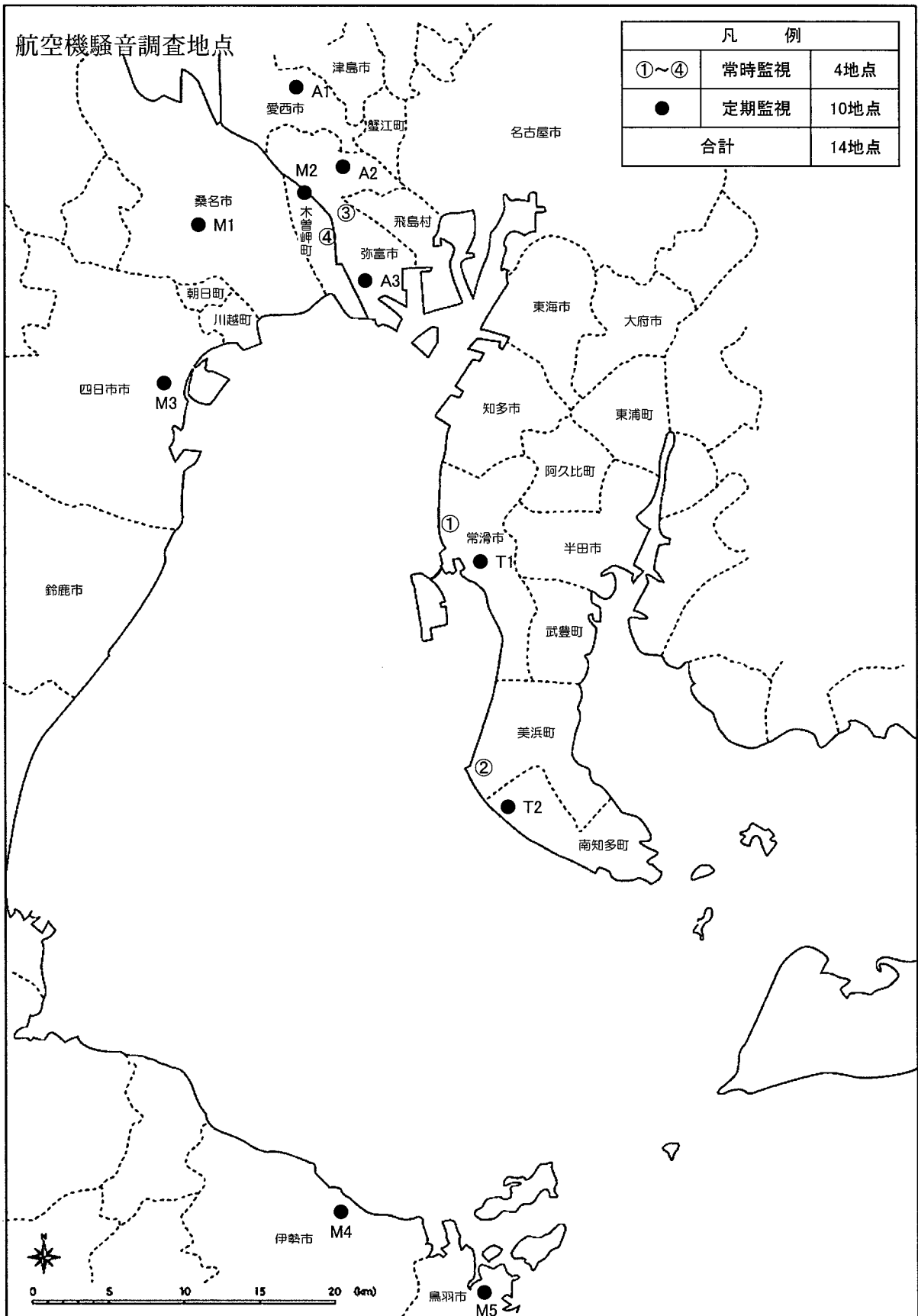


図 3-1 航空機騒音の調査地点 (常時監視及び定期監視)

ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における環境監視結果は、表 3-2(1)～(4)のとおりである。

WECPNL の年間値は、常滑市立鬼崎中学校では 55、美浜町野間（ちびっこ広場）では 54、弥富市立大藤小学校では 56、木曾岬町東部公民館では 56 であった。

各調査地点における月別の WECPNL 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」は、暗騒音より 10dB 以上高い騒音が測定された機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。

WECPNL の月間値は、常滑市立鬼崎中学校では 4 月、5 月及び 10 月～3 月は 54～56、6 月～9 月の間が 50～53 であった。美浜町野間（ちびっこ広場）では 4 月、5 月及び 10 月～3 月は 53～55、6 月～9 月の間が 48～52 であった。これらに対し弥富市立大藤小学校では 4 月～11 月が 53～59、12 月～3 月は 46～51 であった。木曾岬町東部公民館では、4 月～10 月が 55～59、11 月～3 月は 47～53 であった。

月別の測定された機数は、常滑市立鬼崎中学校では 4 月、5 月と 9 月～3 月は 1,500～2,600 機台と多く、中でも 3 月が 2,631 機と最も多かった。6 月～8 月は 600～1,100 機台と少なく、中でも 8 月が 612 機と最も少なかった。美浜町野間（ちびっこ広場）は常滑市立鬼崎中学校と同様の傾向であり、4 月、5 月と 10 月～3 月は 1,200～2,100 機台と多く、中でも 1 月が 2,143 機と最も多かった。6 月～9 月は 300～900 機台と少なく、中でも 8 月が 315 機と最も少なかった。これらに対し弥富市立大藤小学校では 4 月～10 月は 900～2,500 機台と多く、中でも 8 月が 2,589 機と最も多かった。11 月～3 月は 200～600 機台と少なく、中でも 1 月が 289 機と最も少なかった。木曾岬町東部公民館は 4 月～10 月は 900～2,600 機台と多く、中でも 8 月が 2,628 機と最も多かった。11 月～3 月は 200～600 機台と少なく、中でも 1 月が 291 機と最も少なかった。年間機数では常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、木曾岬町東部公民館、弥富市立大藤小学校の順で、常滑市立鬼崎中学校が 23,000 機程度であり、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館は 15,000～17,000 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、基本的に航空機が風上に向かって離着陸する滑走路運用方式をとることから、空港島周辺の風向きに大きな影響を受ける。また、空港近傍では離陸便、着陸便の両方が測定されるが、空港から離れた地域では離陸便の高度が相対的に高くなることから、着陸便の測定が支配的になる。こうしたことから、北風が吹く冬場は空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校では北向きの離陸便が多く測定され、南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、北向きの着陸便が多く測定される。一方で、南風が吹く夏場は、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では南向きの着陸便が多く測定される。従って、WECPNL の月間値は常滑市立鬼崎中学校と、美浜町野間(ちびっこ広場)では冬場に高く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では夏場が高い傾向にあるものと考えられる。

各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。また、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、50～100t(ボーイング 737 等)の機材が最も多く、次いで常滑市立鬼崎中学校と美浜町野間(ちびっこ広場)では 200～250t(ボーイング 777 等)の機材が多く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では ～50t(ボンバルディア DHC-8-400 等)の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。常滑市立鬼崎中学校では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB(測定された機数の年間合計に占める割合 44.5%)であった。なお、70dB 以上の機数の割合は 1.2%であった。美浜町野間(ちびっこ広場)では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB(同 55.6%)であり、70dB 以上の機数の割合は 0.6%であった。弥富市立大藤小学校では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB(同 47.1%)であり、70dB 以上の機数の割合は 2.2%であった。木曾岬町東部公民館では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB(同 50.6%)であり、70dB 以上の機数の割合は 2.2%であった。

なお、航空機騒音に係る環境基準の一部改正により、平成 25 年 4 月から航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden(時間帯補正等価騒音レベル)に変更された。この変更に対応するためシステムの改修を平成 23 年度に行い、平成 24 年度から運用を開始している。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (①常滑市立鬼崎中学校)

年月	WECPNL	ピークレベルの パワー 平均値 (dB)	測定された機数 (機)								測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重 合計 ^{注1)} 日平均	加重 合計の 日平均		
平成24年4月	55	62	55	1,498	291	64	1,908	64	3,561	119	30	
5月	54	61	12	1,359	340	57	1,768	57	3,069	99	31	
6月	52	60	10	840	278	59	1,187	40	2,364	79	30	
7月	53	61	21	661	399	85	1,166	38	2,918	94	31	
8月	50	59	16	246	286	64	612	20	1,904	61	31	
9月	52	60	34	1,213	238	63	1,548	52	2,897	97	30	
10月	55	61	38	2,108	297	46	2,489	80	3,839	124	31	
11月	56	62	48	1,956	293	43	2,340	78	3,745	125	30	
12月	56	62	8	2,117	342	51	2,518	81	3,733	120	31	
平成25年1月	56	62	12	2,142	313	63	2,530	82	3,831	124	31	
2月	56	62	15	1,830	248	66	2,159	77	3,384	121	28	
3月	56	61	53	2,133	397	48	2,631	85	4,334	140	31	
年間値	55	62	322	18,103	3,722	709	22,856	63	39,579	108	365	

注 1. 加重合計は、各々の時間帯に測定された機数について19時～22時の機数を3倍、22時～7時の機数を10倍の重みづけをした合計機数

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (②美浜町野間 (ちびっこ広場))

年月	WECPNL	ピークレベルの パワー 平均値 (dB)	測定された機数 (機)								測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重 合計 ^{注1)} 日平均	加重 合計の 日平均		
平成24年4月	54	61	27	877	404	70	1,378	46	3,059	102	30	
5月	53	60	24	832	367	70	1,293	42	2,873	93	31	
6月	52	60	15	584	300	55	954	32	2,184	73	30	
7月	52	61	17	482	188	52	739	24	1,756	57	31	
8月	51	62	6	88	161	60	315	10	1,231	40	31	
9月	48	61	11	451	26	16	504	17	799	27	30	
10月	53	60	22	1,107	455	50	1,634	53	3,192	103	31	
11月	55	61	33	1,361	613	65	2,072	69	4,180	139	30	
12月	55	61	26	1,291	681	56	2,054	66	4,154	134	31	
平成25年1月	55	61	29	1,261	789	64	2,143	69	4,558	147	31	
2月	55	60	21	1,247	626	80	1,974	71	4,135	148	28	
3月	54	60	34	1,125	691	67	1,917	62	4,208	136	31	
年間値	54	61	265	10,706	5,301	705	16,977	47	36,329	100	365	

表 3-2 (3) 航空機騒音調査結果 (③弥富市立大藤小学校)

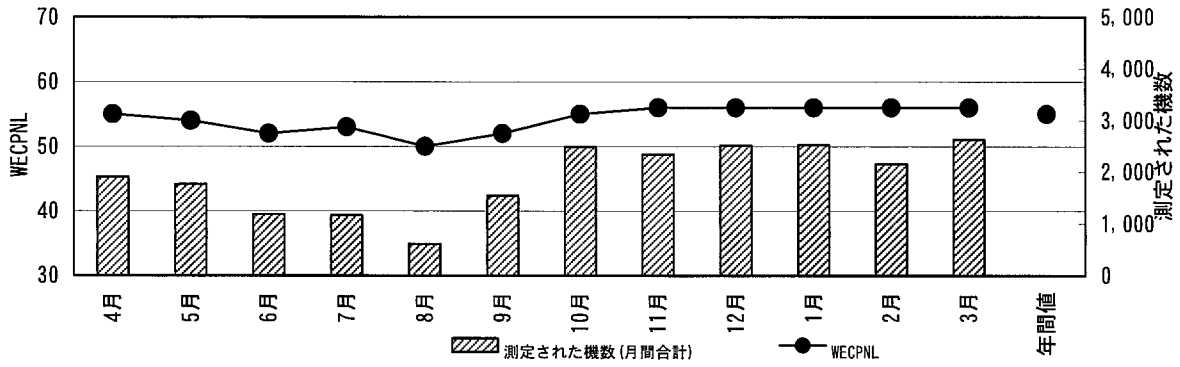
年月	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数 (機)									測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重 合計 ^{注1)}	加重 合計の 日平均			
平成24年4月	58	65	5	1,041	386	28	1,460	49	2,529	84	30		
5月	57	65	7	1,171	340	23	1,541	50	2,491	80	31		
6月	59	65	7	1,641	518	37	2,203	73	3,635	121	30		
7月	58	64	9	1,832	685	54	2,580	83	4,517	146	31		
8月	59	64	10	1,865	640	74	2,589	84	4,625	149	31		
9月	58	64	10	1,482	549	46	2,087	70	3,689	123	30		
10月	54	64	3	720	226	9	958	31	1,518	49	31		
11月	53	65	3	463	172	2	640	21	1,029	34	30		
12月	49	63	1	248	97	3	349	11	579	19	31		
平成25年1月	46	62	0	245	44	0	289	9	377	12	31		
2月	48	62	0	248	83	3	334	12	517	19	28		
3月	51	64	1	485	89	4	579	19	802	26	31		
年間値	56	64	56	11,441	3,829	283	15,609	43	26,308	72	365		

表 3-2 (4) 航空機騒音調査結果 (④木曾岬町東部公民館)

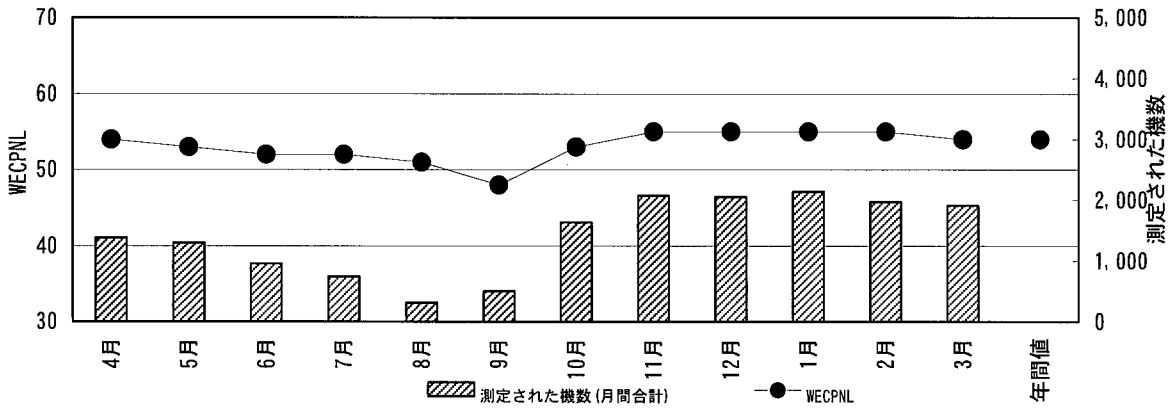
年月	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数 (機)									測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重 合計 ^{注1)}	加重 合計の 日平均			
平成24年4月	59	66	5	1,093	401	29	1,528	51	2,636	88	30		
5月	57	65	6	1,200	356	23	1,585	51	2,558	83	31		
6月	59	65	7	1,668	520	38	2,233	74	3,678	123	30		
7月	59	64	9	1,818	669	54	2,550	82	4,455	144	31		
8月	59	64	10	1,908	636	74	2,628	85	4,656	149	31		
9月	59	65	10	1,567	526	48	2,151	72	3,725	124	30		
10月	55	65	3	720	221	9	953	33	1,503	52	29	注2	
11月	53	65	2	459	169	2	632	21	1,006	34	30		
12月	51	65	1	231	90	3	325	10	541	17	31		
平成25年1月	47	63	0	251	40	0	291	9	371	12	31		
2月	49	63	0	259	76	3	338	12	517	19	28		
3月	52	65	1	489	78	4	572	18	773	25	31		
年間値	56	65	54	11,663	3,782	287	15,786	43	26,419	73	363		

注 2 測定機器不具合のため 2 日間欠測

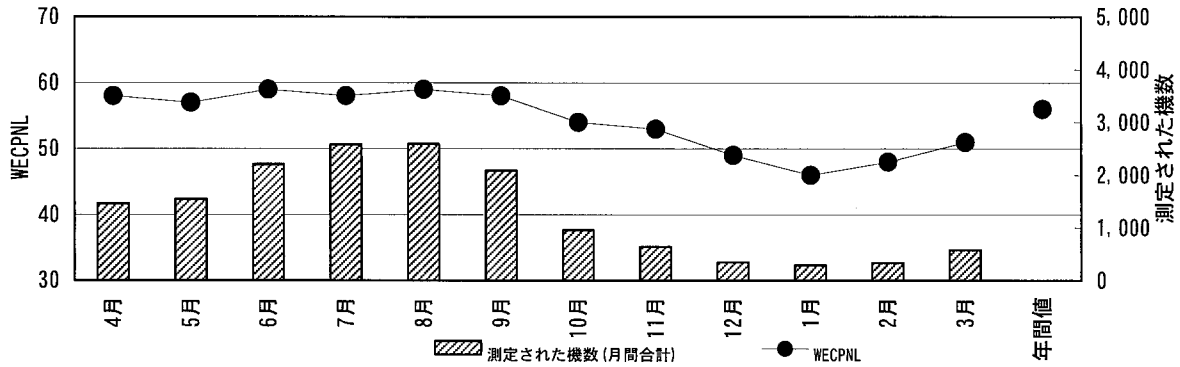
①常滑市立鬼崎中学校



②美浜町野間 (ちびっこ広場)



③弥富市立大藤小学校



④木曾岬町東部公民館

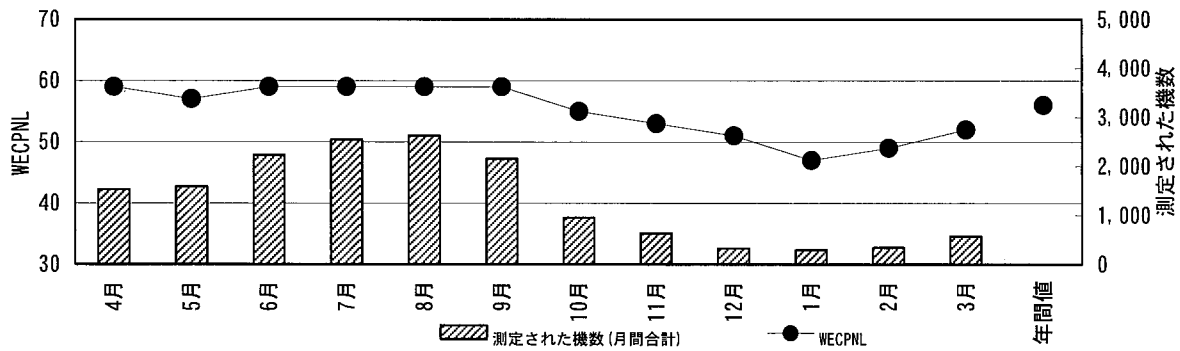
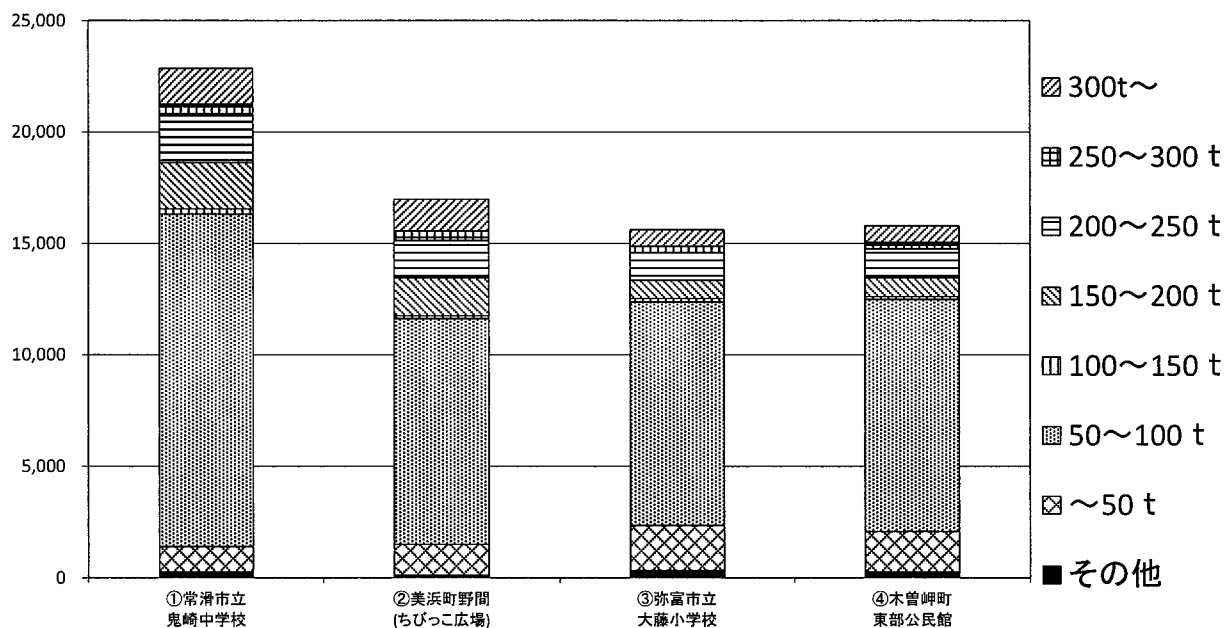


図 3-2 調査地点別の WECPNL 及び測定された機数



注 1. 調査期間は平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
 2. その他は重さが不明な軽飛行機やビジネスジェット機等

図 3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

表 3-3 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機材
300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング777-300/300ER
250~300 t	エアバスA340-300
	ボーイング747-300
200~250 t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
150~200 t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
100~150 t	ボーイング757-200
	エアバスA319-100
50~100 t	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
~50 t	ボンバルディアDHC-8-400
	ボンバルディアCRJ7

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

①常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成24年4月	240	853	677	113	25	1,908
5月	253	874	538	76	27	1,768
6月	215	637	283	40	12	1,187
7月	195	557	359	41	14	1,166
8月	244	238	98	27	5	612
9月	330	889	277	43	9	1,548
10月	298	1,303	766	94	28	2,489
11月	154	914	1,086	149	37	2,340
12月	165	924	1,195	196	38	2,518
平成25年1月	184	931	1,216	172	27	2,530
2月	156	815	999	163	26	2,159
3月	219	1,237	1,001	153	21	2,631
合計	2,653	10,172	8,495	1,267	269	22,856
割合(%)	11.6	44.5	37.2	5.5	1.2	100.0

②美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成24年4月	171	775	362	54	16	1,378
5月	159	742	336	49	7	1,293
6月	170	554	178	43	9	954
7月	148	388	147	44	12	739
8月	80	111	74	45	5	315
9月	70	281	121	27	5	504
10月	217	994	376	38	9	1,634
11月	164	1,157	678	64	9	2,072
12月	152	1,107	695	88	12	2,054
平成25年1月	148	1,186	712	87	10	2,143
2月	166	1,031	718	54	5	1,974
3月	237	1,116	518	42	4	1,917
合計	1,882	9,442	4,915	635	103	16,977
割合(%)	11.1	55.6	29.0	3.7	0.6	100.0

③弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成24年4月	58	187	626	537	52	1,460
5月	66	217	732	475	51	1,541
6月	68	327	1,071	697	40	2,203
7月	109	562	1,353	518	38	2,580
8月	86	493	1,373	583	54	2,589
9月	100	379	1,088	479	41	2,087
10月	89	235	382	233	19	958
11月	100	132	200	190	18	640
12月	60	114	117	52	6	349
平成25年1月	77	100	68	40	4	289
2月	77	102	109	44	2	334
3月	74	103	233	153	16	579
合計	964	2,951	7,352	4,001	341	15,609
割合(%)	6.2	18.9	47.1	25.6	2.2	100.0

④木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成24年4月	36	136	632	656	68	1,528
5月	25	174	741	611	34	1,585
6月	16	247	1,159	766	45	2,233
7月	26	408	1,488	586	42	2,550
8月	22	338	1,534	697	37	2,628
9月	57	280	1,159	618	37	2,151
10月	40	190	402	304	17	953
11月	38	146	222	203	23	632
12月	22	108	123	66	6	325
平成25年1月	48	98	90	52	3	291
2月	49	94	136	54	5	338
3月	32	106	229	181	24	572
合計	411	2,325	7,915	4,794	341	15,786
割合(%)	2.6	14.7	50.6	30.4	2.2	100.0

イ 定期監視結果

平成 24 年 6 月 10 日～16 日の定期監視 1 回目及び平成 25 年 2 月 1 日～7 日の定期監視 2 回目の調査結果は、表 3-5 のとおりである。

定期監視 1 回目の WECPNL は 26～59 の範囲であり、定期監視 2 回目の WECPNL は 35～54 の範囲であった。

定期監視 1 回目のピークレベルの度数分布は表 3-6 のとおりである。

70dB 以上のピークレベルが測定されたのは、愛知県知多地区では南知多 (T2)、海部地区では愛西市 (A1)、弥富市 (A2、A3) 三重県では桑名市(M1)、木曾岬町 (M2) であった。

定期監視 2 回目のピークレベルの度数分布は表 3-7 のとおりである。

70dB 以上のピークレベルが測定されたのは、愛知県知多地区では常滑市 (T1)、南知多町(T2)、愛知県海部地区では弥富市 (A3)、三重県では木曾岬町 (M2)、伊勢市 (M4) であった。

また、各調査地点の測定機数は常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立西小学校(T1)や空港島の南側にある南知多町町民会館体育館(T2)、三重県伊勢市神社みなとまち館(M4)では、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区の愛西市役所(A1)、弥富市十四山西部小学校(A2)、弥富市鍋田公民館(A3)三重県の桑名市大山田地区市民センター(M1)、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設(M2)、四日市市海蔵地区市民センター(M3)では、夏場に南風が吹くときに多くなっている。

尚、平成 25 年度 4 月から航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden に変更されることに伴い測定機器の設置場所の見直しを行った結果、桑名市大山田地区市民センターを除く 9 ヶ所で、同一敷地内での移動を行った。

表 3-5 (1) 航空機騒音調査結果 (定期監視: 1 回目)

調査地点			調査結果										
地区	番号	市町村名	施設名称	調査期間	WECPNL	ピークレベルのパー平均値 (dB)	測定された機数 (機)					加重合計 ^(注)	加重合計の日平均
							0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	合計		
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	H24.06.10 ~ H24.06.16	50	58	5	136	42	23	206	542	77
	T2	南知多町	町民会館体育館	H24.06.10 ~ H24.06.16	50	63	2	47	16	10	75	215	31
	A1	愛西市	愛西市役所	H24.06.10 ~ H24.06.16	52	61	0	158	61	7	226	411	59
愛知県 海部地区	A2	弥富市	十四山西部小学校	H24.06.10 ~ H24.06.16	56	63	1	391	109	10	511	828	118
	A3	弥富市	鍋田公民館	H24.06.10 ~ H24.06.16	59	65	1	415	130	11	557	925	132
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	H24.06.10 ~ H24.06.16	51	62	1	98	42	3	144	264	38
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	H24.06.10 ~ H24.06.16	56	62	1	399	112	8	520	825	118
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	H24.06.10 ~ H24.06.16	48	61	0	79	23	3	105	178	25
	M4	伊勢市	社みなとまち館	H24.06.10 ~ H24.06.16	47	62	3	30	10	3	46	120	17
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	H24.06.10 ~ H24.06.16	26	61	0	1	0	0	1	1	0

注. 加重合計は、各々の時間帯に測定された機数について 19 時～22 時の機数を 3 倍、22 時～7 時の機数を 10 倍の重みづけをした合計機数

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果 (定期監視：2 回目)

調査地点			調査結果												
地区	番号	市町村名	施設名称	調査期間	WECPNL	ピークレベルのパワー平均値 (dB)	測定された機数 (機)						日平均	加重合計 ^(注)	加重合計の日平均
							0:00 ~	7:00 ~	19:00 ~	22:00 ~	合計				
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	H25.02.01 ~ H25.02.07	54	60	10	425	60	13	508	73	835	119	
	T2	南知多町	町民会館体育館	H25.02.01 ~ H25.02.07	51	59	5	67	62	15	149	21	453	65	
	A1	愛西市	愛西市役所	H25.02.01 ~ H25.02.07	42	61	0	13	8	1	22	3	47	7	
愛知県 海部地区	A2	弥富市	十四山西部小学校	H25.02.01 ~ H25.02.07	48	62	0	41	23	2	66	9	130	19	
	A3	弥富市	鍋田公民館	H25.02.01 ~ H25.02.07	52	64	0	70	26	2	98	14	168	24	
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	H25.02.01 ~ H25.02.07	44	61	0	11	13	1	25	4	60	9	
	M2	木曽岬町	農村集落多目的共同利用施設	H25.02.01 ~ H25.02.07	48	60	0	62	26	2	90	13	160	23	
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	H25.02.01 ~ H25.02.07	43	62	0	18	6	1	25	4	46	7	
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	H25.02.01 ~ H25.02.07	52	62	7	107	60	6	180	26	417	60	
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	H25.02.01 ~ H25.02.07	35	60	0	1	3	0	4	1	10	1	

表 3-6 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視 1 回目）

調査地点				測定された機数（機）					
地区	番号	市町村名	施設名	55dB	55dB	60dB	65dB	70dB	合計
				未満	～ 60dB	～ 65dB	～ 70dB	以上	
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	95	83	20	8	0	206
	T2	南知多町	町民会館体育館	23	37	11	3	1	75
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	49	90	64	21	2	226
	A2	弥富市	十四山西部小学校	17	176	249	65	4	511
	A3	弥富市	鍋田公民館	2	51	308	186	10	557
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	8	55	63	16	2	144
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	86	232	141	57	4	520
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	1	43	52	9	0	105
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	9	17	13	7	0	46
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	0	0	1	0	0	1

注. 定期監視 1 回目は平成 24 年 6 月 10 日～6 月 16 日に実施

表 3-7 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視 2 回目）

調査地点				測定された機数（機）					
地区	番号	市町村名	施設名	55dB	55dB	60dB	65dB	70dB	合計
				未満	～ 60dB	～ 65dB	～ 70dB	以上	
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	77	286	127	14	4	508
	T2	南知多町	町民会館体育館	52	64	27	5	1	149
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	3	9	8	2	0	22
	A2	弥富市	十四山西部小学校	7	29	22	8	0	66
	A3	弥富市	鍋田公民館	9	22	38	27	2	98
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	6	11	6	2	0	25
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	26	44	15	4	1	90
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	0	10	14	1	0	25
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	37	57	72	11	3	180
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	0	2	2	0	0	4

注. 定期監視 2 回目は平成 25 年 2 月 1 日～2 月 7 日に実施

(2) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の①と②について比較・検討した。

① 環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（I 類型の基準値 70WECPNL）と比較した。

② 開港後の推移

開港後の変動傾向を把握した。

ア 環境基準値との比較

(ア) 常時監視結果

平成 24 年度の常時監視 4 地点における年間値は表 3-8 のとおりである。

WECPNL の年間値は常滑市立鬼崎中学校では 55、美浜町野間（ちびっこ広場）では 54、弥富市立大藤小学校では 56、木曾岬町東部公民館では 56 であった。環境基準値と比較した結果、4 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（I 類型の基準値 70WECPNL、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の WECPNL の値は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では秋から冬が高い値となった。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

(イ) 定期監視結果

平成 24 年度の定期監視 10 地点における 1 回目、2 回目の調査結果及び年間値は表 3-9 及び図 3-4 のとおりである。

WECPNL の年間値は 33～57 の範囲にあり、環境基準値と比較した結果、10 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図 2-4 に示したとおり運用比率は、定期監視 1 回目が行われた平成 24 年 6 月は南向き運用比率が高く、定期監視 2 回目が行われた平成 25 年 2 月は北向き運用比率が高かった。その結果、空港島の北側にある愛知県海部地区(A1、A2、A3)や三重県の桑名市(M1)、木曾岬町(M2)、では 1 回目の調査結果が 2 回目より高い値となり、空港島の南側にある南知多町(T2)や三重県の伊勢市(M4)、鳥羽市(M5)では 2 回目の調査結果の方が高い値となっていた。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表 3-10 及び表 3-11 に示す。

【航空機騒音に係る環境基準について】

＜中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準＞

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛知県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。	I	70WECPNL 以下	平成18年4月1日
三重県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。	I		平成19年4月1日

表 3-8 航空機騒音調査結果（常時監視）

調査期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

調査地点	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数（機）								測定 日数 (日) 注2)
			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 0:00	年間 合計	日平均	年間 加重	加重 合計の 日平均	
			年間 合計	年間 加重 合計注1)	加重 合計の 日平均						
①常滑市立 鬼崎中学校	55	62	322	18,103	3,722	709	22,856	63	39,579	108	365
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	54	61	265	10,706	5,301	705	16,977	47	36,329	100	365
③弥富市立 大藤小学校	56	64	56	11,441	3,829	283	15,609	43	26,308	72	365
④木曾岬町 東部公民館	56	65	54	11,663	3,782	287	15,786	43	26,419	73	注2) 363

注 1. 年間加重合計は、各々の時間帯に測定された機数について19時～22時の機数を3倍、22時～7時の機数を10倍の重みづけをした合計機数

注 2 測定日数は、測定機器不具合のため2日間欠測

備考：環境基準値（I類型）は、年間値が70WECPNLである

表 3-9 航空機騒音調査結果 (定期監視)

調査地点		調査結果												
		1回目 ^(注1)					2回目 ^(注1)							
		WEC PNL	ピーク レベルの パワー 平均値 (dB)	測定された 機数の 日平均 (機) ^(注2)	WEC PNL	ピーク レベルの パワー 平均値 (dB)	測定された 機数の 日平均 (機) ^(注2)	WEC PNL	ピーク レベルの パワー 平均値 (dB)	測定された 機数の 日平均 (機) ^(注2)	年間値 (2回の平均)	測定された 機数の 日平均 (機) ^(注2)		
愛知県知多地区	番号市町村名	施設名称	50	58	29	54	60	73	52	59	51	51	51	16
	T1 常滑市	常滑西小学校	50	63	11	51	59	21	51	61	16	51	61	16
	T2 南知多町	町民会館体育館	52	61	32	42	61	3	49	61	18	49	61	18
愛知県海部地区	A1 愛西市	愛西市役所	56	63	73	48	62	9	54	63	41	54	63	41
	A2 弥富市	十四山西部小学校	59	65	80	52	64	14	57	65	47	57	65	47
	A3 弥富市	鍋田公民館	51	62	21	44	61	4	49	62	13	49	62	13
三重県	M1 桑名市	大山田地区市民センター	56	62	74	48	60	13	54	61	44	54	61	44
	M2 木曽岬町	農村集落多目的共同利用施設	48	61	15	43	62	4	46	62	10	46	62	10
	M3 四日市市	海蔵地区市民センター	47	62	7	52	62	26	50	62	17	50	62	17
	M4 伊勢市	神社みなとまち館	26	61	0	35	60	1	33	61	1	33	61	1
	M5 鳥羽市	鳥羽東中学校												

注 1. 1 回目は平成 24 年 6 月 10 日～16 日に、2 回目は平成 25 年 2 月 1 日～7 日に実施

注 2. 測定された機数とは、航空機騒音が暗騒音より 10dB 以上高くなった航空機の機数である。

備考：環境基準値 (I 類型) は、年間値が 70WECPNL である。

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

調査地点	調査期間	WECPNL	地域の類型
常滑市樽水町	平成24. 6. 27 ~ 7. 3	54	I
	平成25. 1. 28 ~ 2. 3	50	
南知多町大字豊浜	平成24. 6. 8 ~ 14	45	I
	平成25. 2. 14 ~ 20	42	
美浜町大字上野間	平成24. 6. 16 ~ 22	45	I
	平成25. 2. 6 ~ 12	44	
知多市南粕谷本町	平成25. 2. 22 ~ 28	47	-
飛島村大字服岡	平成24. 7. 13 ~ 19	48	I
	平成25. 1. 10 ~ 16	43	
愛西市稲葉町	平成24. 7. 21 ~ 27	50	-
弥富市鍋田町	平成24. 7. 5 ~ 11	59	I
	平成25. 1. 18 ~ 24	54	

注. - は類型指定されていないことを示す。

出典：愛知県ホームページ「あいちの環境 平成24年度交通騒音・振動に関する調査結果」から作成。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点	調査期間	WECPNL	地域の類型
木曾岬町大字和富	平成24. 6. 26 ~ 7. 2	57	I
桑名市長島町	平成24. 6. 26 ~ 7. 2	48	I
鳥羽市答志町	平成24. 11. 16 ~ 22	41	I

出典：三重県ホームページ「中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果（平成24年度）」から作成。

イ 開港後の推移

(7) 常時監視結果

中部国際空港の開港後からの変動傾向を把握するため、常時監視調査による航空機騒音の推移をとりまとめた。

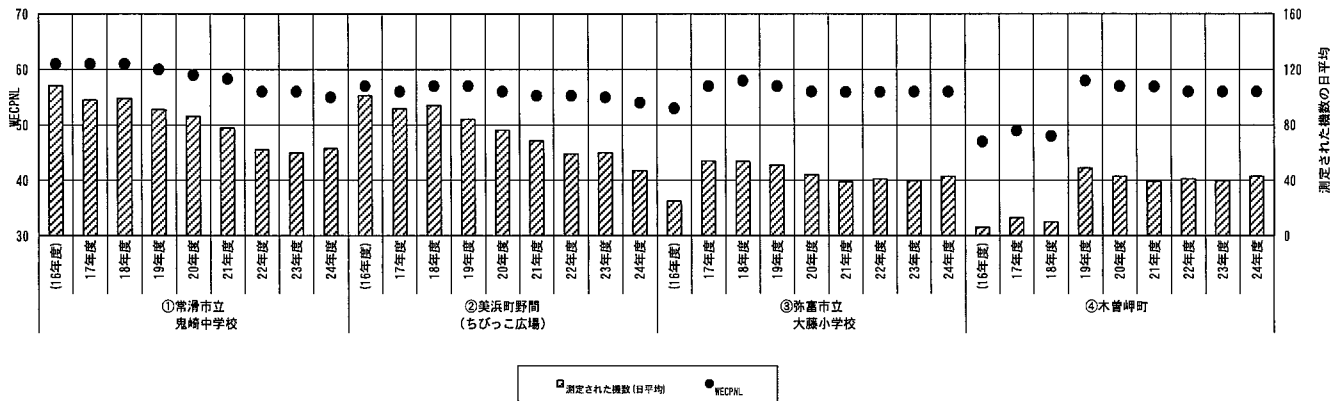
年度別の WECPNL 及び測定された機数の推移は表 3-12 及び図 3-5 のとおりである。なお、平成 16 年度は開港の年度で、2 月 17 日～3 月 31 日の値を集計したものであり、短期間の測定値であることから参考として示した。

表 3-12 年度別の WECPNL 及び測定機数

調査地点	WECPNL年間値									測定された機数の日平均 (機)								
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
①常滑市立 鬼崎中学校	(61)	61	61	60	59	58	56	56	55	(108)	98	99	91	86	78	62	60	63
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	(57)	56	57	57	56	55	55	55	54	(101)	92	94	84	76	68	59	60	47
③弥富市立 大藤小学校	(53)	57	58	57	56	56	56	56	56	(25)	54	54	51	44	39	41	40	43
④木曾岬町 東部公民館	(47)*	49*	48*	58	57	57	56	56	56	(6)*	13*	10*	49	43	39	41	40	43

注 1. ()内の数字は 2 月 17 日～3 月 31 日の測定値を集計したものであり、参考として示した。

2 *の付いた数字は、木曾岬町南部クリーンセンターにおける測定値である。



注. 平成 16 年度は 2 月 17 日～3 月 31 日の測定値を集計したものであり、参考として示した。

図 3-5 年度別の WECPNL 及び測定機数の推移

比較のできる平成17年度以降のWECPNL年間値は、常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校では毎年度同程度で推移している。また、木曾岬町では平成19年度に調査地点を南部クリーンセンターから東部公民館に変更して以降は毎年度同程度で推移している。

測定された機数の日平均は常滑市立鬼崎中学校、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館では毎年度同程度で推移している。美浜町野間（ちびっこ広場）は減少傾向で推移している。美浜町野間（ちびっこ広場）で平成24年度に測定された機数は前年度の78%であった。

(イ) 定期監視結果

平成17年2月の開港後1年を経過した平成18年2月から年2回の定期監視を実施している。平成17年度が下半期1回、平成18年度から年2回の測定値が蓄積されたので、年2回の平均値として推移をとりまとめた。

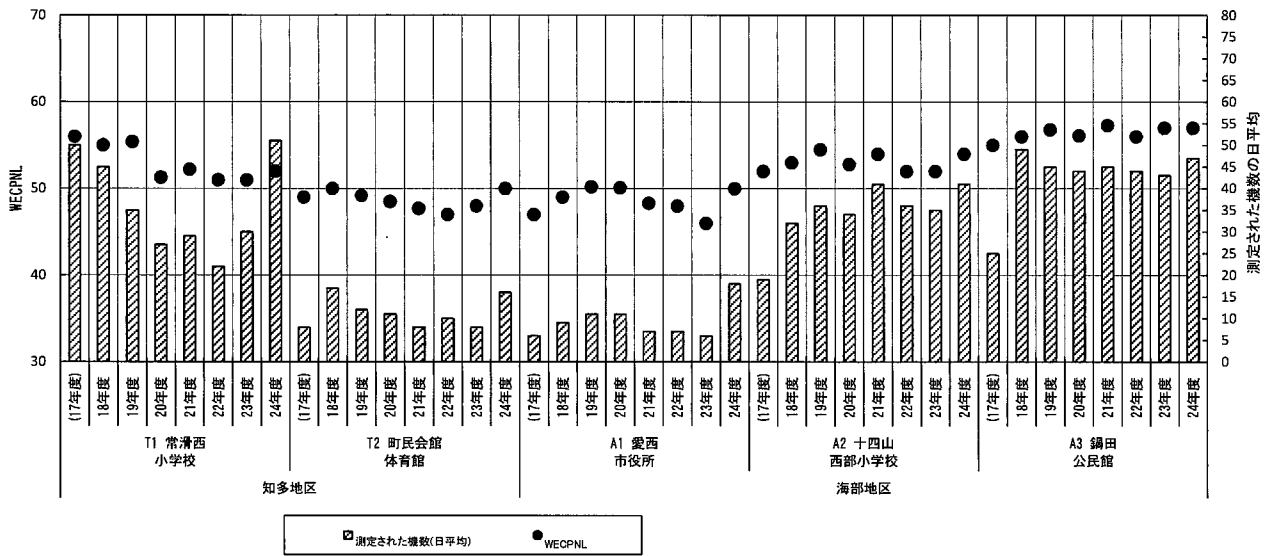
年度別のWECPNL及び測定された機数の推移は表3-13及び図3-6のとおりである。

表 3-13 年度別の WECPNL 及び測定機数

地区	調査地点			年間値(2回の平均)															
	番号	市町村名	施設名称	WECPNL								測定された機数の日平均(機)							
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
愛知県 海部	T1	常滑市	常滑西小学校	(56)	55	55	51	52	51	51	52	(50)	45	35	27	29	22	30	51
	T2	南知多町	町民会館体育館	(49)	50	49	49	48	47	48	50	(8)	17	12	11	8	10	8	16
	A1	愛西市	愛西市役所	(47)	49	50	50	48	48	46	50	(6)	9	11	11	7	7	6	18
	A2	弥富市	十四山西部小学校	(52)	53	55	53	53	52	52	54	(19)	32	36	34	35	36	35	41
	A3	弥富市	鍋田公民館	(55)	56	57	56	57	56	57	57	(25)	49	45	44	45	44	43	47
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	(39)	45	44	45	45	46	48	49	(2)	4	3	5	7	9	11	12
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	(54)*	56*	51	51	51	52	51	53	(21)*	46*	33	38	33	40	40	44
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	(48)	42	42	36	38	37	37	46	(2)	1	2	1	1	1	0	9
	M4	伊勢市	社社みなとまち館	(50)	50	47	46	47	47	49	50	(11)	13	9	11	11	13	13	16
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	(42)	41	42	37	40	34	39	32	(2)	2	2	1	1	1	1	0

注1*の付いた数字は木曾岬町東部公民館における測定値である。

2.()は年1回の測定値であり、参考として示した。



注. 平成17年度は下半期1回だけの測定値であり、参考として示した。

図 3-6 WECPNL 及び測定機数の年度別推移

比較のできる平成17年度以降のWECPNL年間値(2回の平均)は、毎年度同程度で推移している。

測定された機数の日平均は常滑市常滑西小学校、四日市市海蔵地区市民センターにおいて増加が認められた。その他の調査地点では毎年度同程度で推移している。

(3) 航空機騒音の評価

平成 24 年度の常時監視 4 地点の WECPNL 年間値は 54～56 の範囲にあり、環境基準値(I 類型:70WECPNL 以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また、開港後の推移では WECPNL 年間値は、同程度で推移した。

平成 24 年度の定期監視 10 地点の WECPNL 年間値は 32～57 の範囲にあり、環境基準値(I 類型:70WECPNL 以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また、開港後の推移では WECPNL 年間値は、同程度で推移した。

以上より、平成 24 年度の常時監視及び定期監視結果は全調査地点で環境基準を満たしており、開港後の推移でも大きな変化はみられなかった。

※ 航空機騒音に係る環境基準の一部改正により、平成 25 年 4 月に航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden(時間帯補正等価騒音レベル)に変更されているが、今回の調査は平成 24 年度の観測結果を対象としているため、WECPNL による評価を行っている。

参考資料 1

航空機騒音に係る相談件数

① 航空機騒音相談件数の状況

		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
航空機騒音	愛知県	79	490	448	409	245	297	206	233	263
	岐阜県	0	1	0	0	1	0	0	0	4
	三重県	27	162	93	59	47	31	24	31	27
	在住不明	0	5	4	3	2	1	0	0	0
	計	106	658	545	471	295	329	230	264	294

※2012年度の相談者数は31名

② 2012年度 相談内容別件数

区 分	主な相談内容等
飛行経路・高度への相談 207件	<ul style="list-style-type: none"> ○いついつに飛んだ飛行機の高度・行き先を知りたい ○陸域を低空で飛ばすな(海域を飛ばせ。) ○我が家の上空を飛行するな。 ○飛行経路を知りたい。(飛び方・便数など詳しい内容を知りたい。) ○飛行経路が守られていないのではないか。(普段通らないところを通過した。)
騒音に対する相談 87件	<ul style="list-style-type: none"> ○深夜・早朝の飛行機の音がうるさい。(睡眠などを阻害) ○飛行機の音がうるさい。 ○いついつに飛んだ飛行機の音がうるさい。 ○着陸機の騒音がうるさい。

参考資料 2

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

環 境 監 視 計 画

2010年4月改定

中部国際空港株式会社

目 次

第1章 環境監視についての基本的な考え方	1
1.1 環境監視の目的	1
1.2 環境監視計画の内容等	1
1.3 環境監視の実施	1
1.4 環境監視結果の評価	1
1.5 対策	1
1.6 環境監視結果の公開等	2
第2章 環境影響要因	4
2.1 環境影響要因	4
2.2 場所及び規模	4
2.3 航空機の運航	4
2.4 空港施設概要	4
第3章 環境監視計画	8
3.1 調査	8
3.2 環境監視情報処理システム	12

第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

1. 1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

1. 2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

1. 3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

1. 4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

1. 5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

1. 6 環境監視結果の公開等

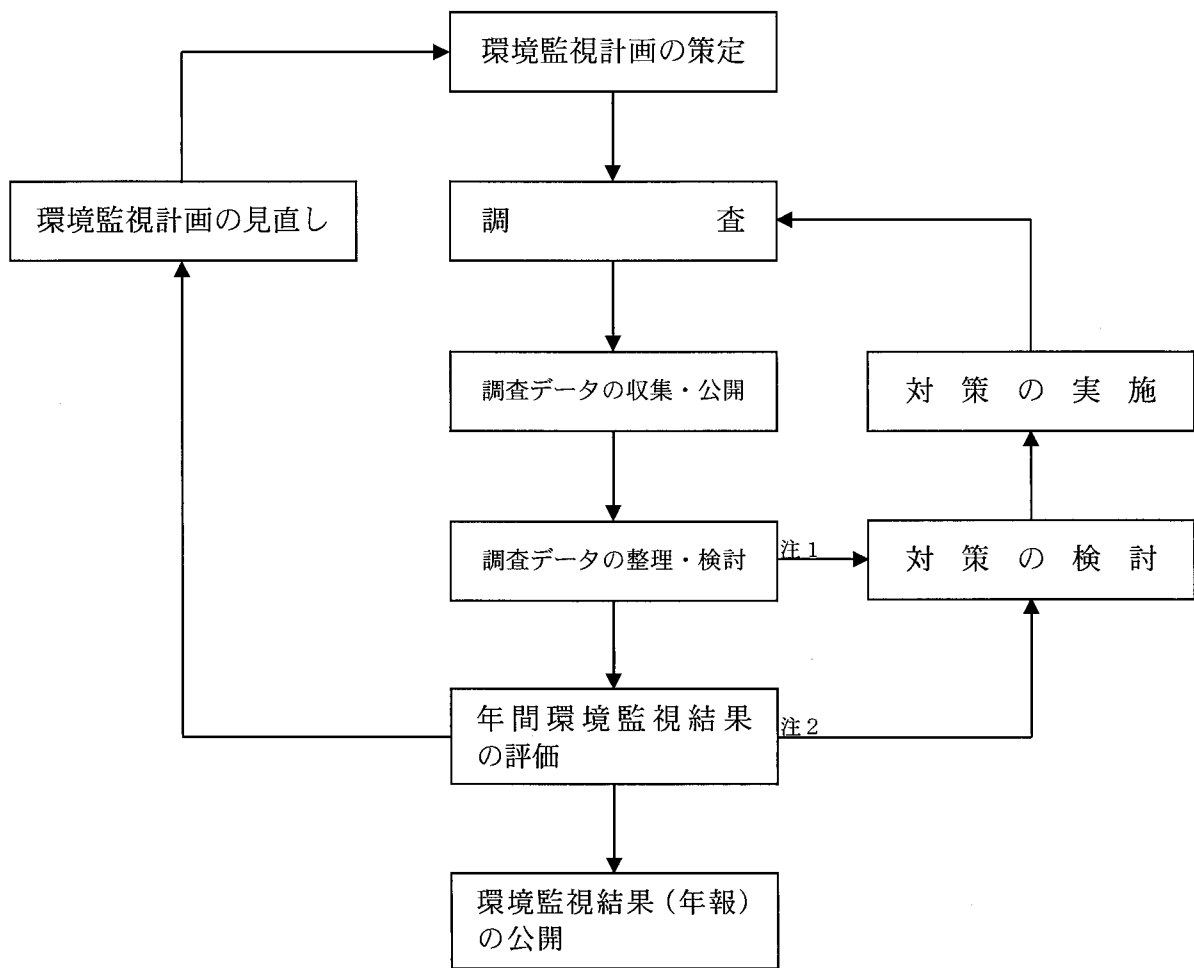
環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

＜環境監視結果の公開方法＞

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

第2章 環境影響要因

2.1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

2.2 場所及び規模

(1) 場所 (図2-1参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

2.3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図2-2、2-3参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B747、B767、B777、MD90、A320、A330等

(4) 離着陸回数 約10万回/年 (2008年度実績)

2.4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)

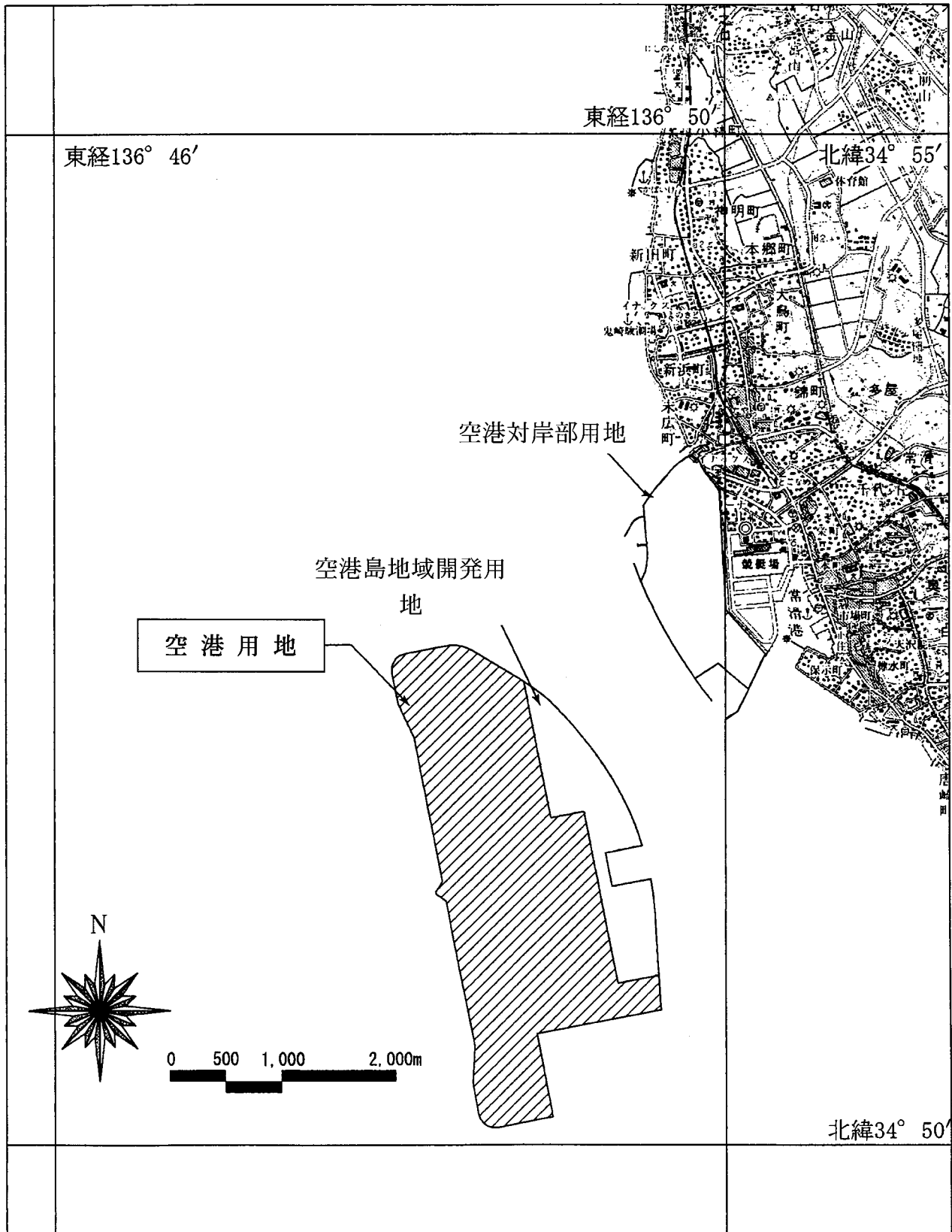
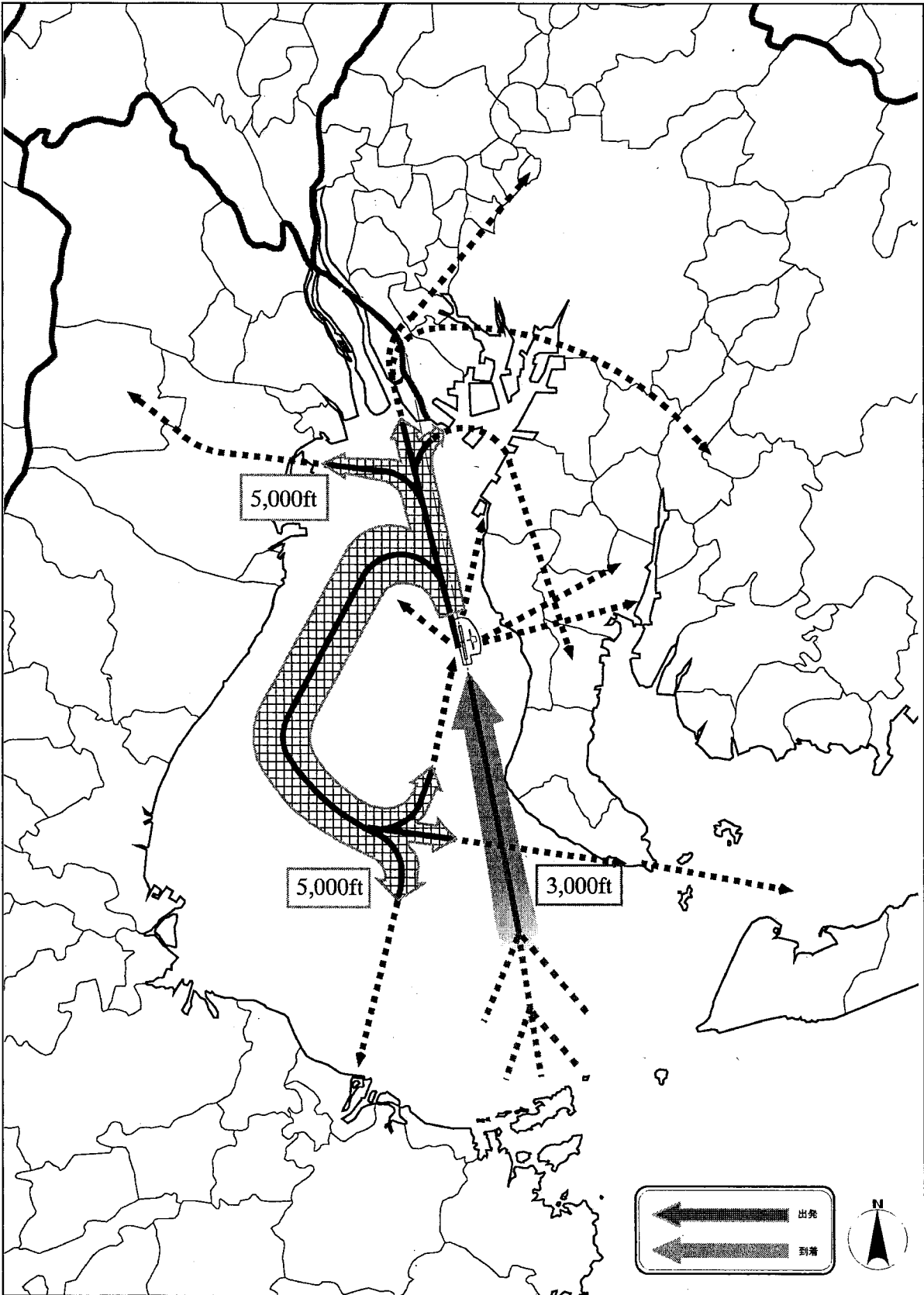
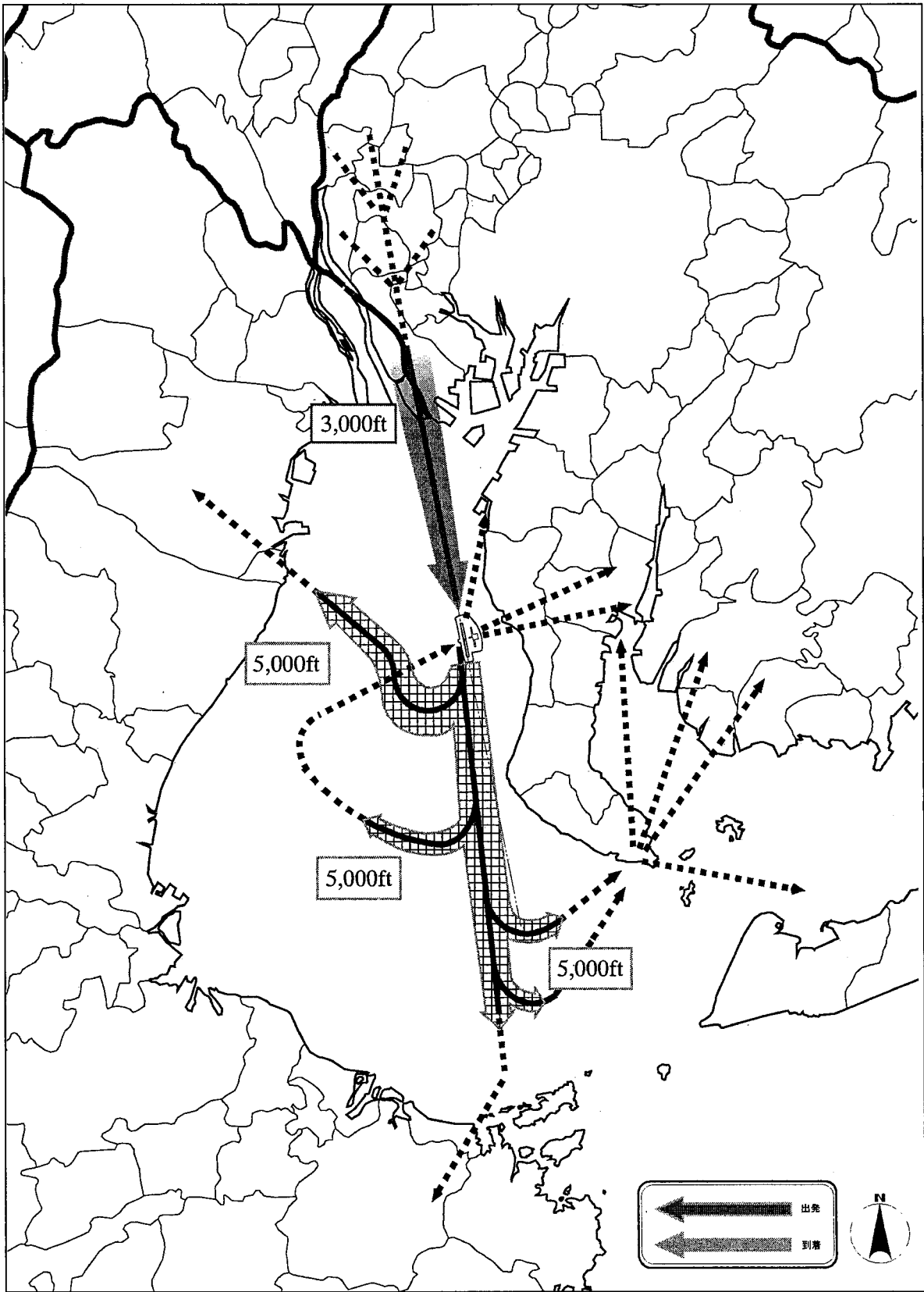


図 2 - 1 場所及び形状



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-2 飛行経路（北向き運用：6～23時）



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-3 飛行経路（南向き運用：6～23時）

第3章 環境監視計画

3.1 調査

(1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

(2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調査項目			調査地点	調査頻度・時期	調査方法
騒音	航空機騒音	常時監視	図3-1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 <small>注</small>	図3-1 (10地点)	年2回 (夏期・冬期)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

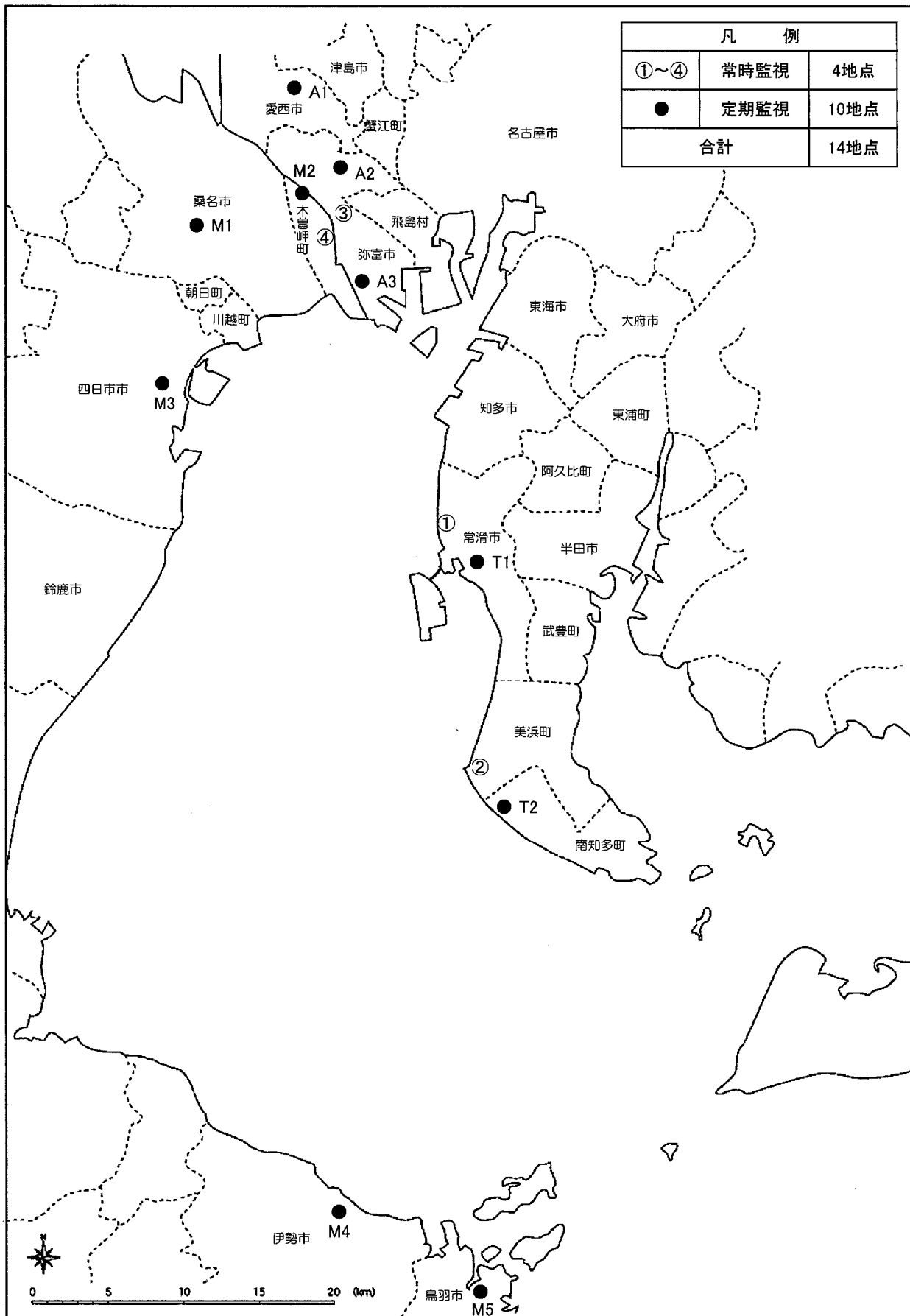


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所
T1	常滑市立常滑西小学校
T2	南知多町町民会館体育館

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所
A1	愛西市役所
A2	弥富市立十四山西部小学校
A3	弥富市鍋田公民館

(3) 三重県

地 点	場 所
M1	桑名市大山田地区市民センター
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設
M3	四日市市海蔵地区市民センター
M4	伊勢市神社みなとまち館
M5	鳥羽市立鳥羽東中学校

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号)及び「航空機騒音監視測定マニュアル」(昭和63年環境庁大気保全局編)に定める方法

3. 2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

